

# 動 検 時 報



Vol.57-2 2024.04



가축의 전염병은 해외에서 반입한 육제품, 토양을 밟은 신발, 자전거 타이어 등을 통해 일본에 침입할 우려가 있습니다.  
일본 입국 시 신발이나 자전거 타이어 청소·소독에 협조 부탁드립니다.

家畜の伝染病は、海外から持ち込んだ肉製品、現地の土壌を踏んだ靴、自転車のタイヤなどを介して、日本に侵入する恐れがあります。  
日本入国時は、靴底や自転車のタイヤの清掃・消毒にご協力ください。



## ○ What's New !

韓国において、豚やいのししの悪性の伝染病であるアフリカ豚熱の感染が急速に拡大しています。

動物検疫所では、韓国からの旅客に対する注意喚起のため、上のポスターを新たに作成し、韓国からの到着便があるフェリーターミナル、韓国便の船内等に提示いただいています。

アフリカ豚熱等の家畜の伝染病の日本への侵入を防ぐために、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

## ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 動検時報 第57-2号 目次 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

◎ トピックス	
・ 韓国におけるアフリカ豚熱の感染拡大を受けた水際検疫の徹底 （検疫部管理指導課・企画管理部企画調整課）	3
・ 比田勝港、博多港、下関港における動植物検疫広報キャンペーン （門司支所 検疫第1課・博多出張所）	4
・ 春節期の広報キャンペーン（羽田空港支所）	5
・ 違反常習者の逮捕事例（羽田空港支所）	6
◎ 動物検疫関連情報	
・ 旅客携帯品及び国際郵便物で持ち込まれた畜産物のウイルス汚染状況調査・定量的なリスク評価 （精密検査部危険度分析課）	6
・ 動植物検疫探知犬の所内育成（検疫部管理指導課）	7
・ 畜産物検査の分野で初の ISO 認定取得（神戸支所検疫課荊藻検疫場）	8
・ 精密検査部報告会特別講演会（精密検査部微生物検査課）	9
・ 国内防疫支援に係る緊急派遣者実績と防疫資機材の貸付状況（企画管理部危機管理課）	9
◎ 所内情報	
・ 退任に当たって（羽田空港支所前支所長）	10
・ 退任の挨拶（中部空港支所前次長）	10
・ 退任の挨拶（関西空港支所前次長）	11
・ 令和5年度感謝状贈呈（総務部庶務課）	11
・ 令和5年度動物検疫所アワード表彰（総務部庶務課）	11
・ 令和5年度における動物検疫所（本所）の見学等（統括検疫管理官）	12
・ 令和5年度研修実績（企画管理部調査課）	12
・ 人事異動（令和6年1月2日～令和6年4月1日）（総務部庶務課）	13
◎ 畜産物・動物の輸出入検疫数量実績（令和5年12月～令和6年2月）（企画管理部調査課）	17
◎ 動検通信（沖縄支所）	20

## ◎トピックス

### ・韓国におけるアフリカ豚熱の感染拡大を受けた水際検疫の徹底

(検疫部管理指導課・企画管理部企画調整課)

韓国では令和元年9月のアフリカ豚熱の発生確認以来、飼養豚、野生いのししで徐々に感染が拡大していましたが、令和6年1月には日本への定期航路がある釜山港のフェリーふ頭と距離が近い場所で感染野生いのししが確認されました。

2018年以降アジア地域でアフリカ豚熱が急拡大してきたこと、令和5年5月に韓国で口蹄疫の再発が確認されたことから、動物検疫所ではそれらの侵入を阻止するべく、これまでも水際対策を最大限強化してきたところでした。そのような中で、さらに韓国の釜山で野生いのししのアフリカ豚熱感染が確認されたことから、アフリカ豚熱対策の徹底・更なる強化として、全所で、旅客への口頭質問の実施状況などの緊急点検を行うとともに、この機をとらえ、特に釜山港から日本に直行する定期旅客船（下関港、博多港、比田勝港、大阪港に就航するフェリー・高速船（以下「釜山定期旅客船」という。))を対象とし、以下の対策の再点検・見直しを行いました。

#### ① 出国前から日本に持ち込ませない

釜山定期旅客船での広報については、従前より船会社と良好な協力体制を構築しているところですが、改めてチェックインカウンターでの広報（出国前広報）、船内アナウンス、ポスター船内掲示等への協力を求めました。

#### ② 空海港における対策

従来から、国際線が就航する全ての空海港に靴底消毒マットを設置していますが、農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門の助言を踏まえ、消毒マット等で利用する消毒液の濃度や使用方法等の再点検を実施しました。

釜山定期旅客船の全ての旅客に口頭質問を実施し、肉製品の持込みの有無を確認するとともに、ゴルフシューズ、トレッキングシューズ等の要消毒物品に対しての対応をより厳格に実施しています。その他、関係機関、港湾関係者と連携し、全ての旅客に対して車両、自転車

等のタイヤ消毒を呼びかけ、消毒を実施しています。

また、検疫探知犬も可能な限り活動回数を増加させています。

#### ③ 関係機関との連携・協力

1月25日、(一社)日本旅行業協会、(一社)全国旅行業協会、(公財)国際人材協力機構へ動物検疫の徹底に係る協力依頼を行いました。

特に、釜山定期旅客船が就航する4港においては、2月2日、消費・安全局動物衛生課国際衛生対策室長より、釜山定期旅客船会社に対して、動物検疫の徹底に係る協力依頼を发出了しました。具体的には、船舶への車両搭載前にタイヤ洗浄する旨の呼びかけ、乗船手続時のリーフレット配布やポスター掲示、船内の車両積載場所の清掃、船内アナウンスの実施等について協力を求めました。その他、各所から4港の港湾関係者に対しても動物検疫の徹底に係る協力依頼を行いました。

また、2月16日には、動物衛生課長より、(公財)日本ゴルフ協会、(一社)日本ゴルフ場経営者協会、(一社)日本ホテル協会、(一社)全日本ホテル連盟、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会、(一社)日本旅館協会に対して、動物検疫の徹底に係る協力依頼を行いました。具体的には、靴底等洗浄・消毒、空海港における携帯品検査の事前周知、利用旅客へのリーフレット配布、ゴルフ場・宿泊施設でのポスター掲示、施設利用前後の靴底等洗浄・消毒の実施等について協力を求めました。

動物検疫所では、引き続き関係機関とも連携し、水際対策の徹底に万全を期していきます。皆様の御協力をお願いいたします。

## ・比田勝港、博多港、下関港における動植物検疫広報キャンペーン

(門司支所 検疫第1課・博多出張所)

昨年12月、韓国の釜山広域市に生息する野生いのししにおいて、同市では初めてアフリカ豚熱の感染が確認されました。動物検疫所では警戒を高め、同病の侵入防止のため水際対策を強化していたところ、今年1月には、門司支所が管轄としている比田勝港（対馬）や博多港、下関港への直行便が出ている釜山国際旅客ターミナル付近の山中で2例目が確認されました。定期船を利用して毎日多くの旅行客が釜山から訪れており、同病の侵入リスクがかつてないほど高まっていることから、危機感を持って水際対策の徹底、更なる強化に取り組んでいるところです。

釜山広域市では継続して野生いのししにおける同病の感染が確認されていますが、2月9日から旧正月（ソルラル）を迎える韓国からの旅行客も増加するため、肉製品の持込み禁止をより広く周知する目的で、今回、それぞれの旅客ターミナルにて広報キャンペーンを実施しました。

まず、下関港では旧正月に先じた1月26日、ターミナルロビーで釜山への出国を待つ旅行客に対し、肉製品の持込み禁止の呼び掛け、広報用ポケットティッシュの配布を行いました。ロビーでは、普段から肉製品の持込み禁止や罰則に関する注意喚起など、動物検疫に関する啓発ポスターを人の目にとまる場所に多く掲示しています。出発までポスターも見ていただける時間もたっぷりあり、同じ内容のポケットティッシュを家畜防疫官から受け取ることは、旅行客への周知に、より効果が期待できます。

比田勝港では、2月8日に到着した旅行客に対して、キャンペーンを実施しました。釜山港と対馬の比田勝港・厳原港を結ぶ定期航路は、ピーク時の平成30年には6社6便が参入し、特に釜山から近い比田勝港においては1日に5～9便が到着していました。平成30年は年間40万人を超える入国者数を記録したものの、日韓関係の悪化による入国者数の激減、航路の運休、そしてコロナ禍での全便運休へ推移しました。段階的な入国規制緩和を受け、令和5年2月、約3年ぶりに2

社2便での運航再開となった比田勝港には、増便や人数制限解除を経て、釜山からの入国者が増加しています。比田勝港のキャンペーンでは、対馬家畜保健衛生所と合同で、動植物検疫探知犬も参加し、到着ロビーでポケットティッシュを旅行客に配布しながら、肉製品の持込み禁止の呼び掛けを行いました。動植物検疫探知犬がいることで、日頃のキャンペーン以上に、旅行客が配布物に目を留めてくれることが多いように感じました。



(比田勝港国際ターミナルにて)

翌日の2月9日には博多港に活動の場所を移し、福岡県及び門司植物防疫所福岡支所と共同でキャンペーンを実施しました。午前中にニューかめりあ号で、昼過ぎにQueen Beetle号で釜山へ出発するそれぞれの便の旅行客に対し、出国口で呼び掛けながらポケットティッシュの配布を行いました。Queen Beetle号はコロナ禍の中、令和4年11月に国内で初めて国際定期旅客船として運航を開始した高速船です（動検時報56-1号）。博多港でも、動植物検疫探知犬が参加し、初めて動植物検疫探知犬を見る方も多かった様子で、動植物検疫について印象深くアピールすることができました。

比田勝港、博多港のキャンペーンでは、複数のメディアによる取材もあり、報道いただいたことでより広く啓発されたと思います。



(博多港国際ターミナルにて)

また、日本に肉製品などを持ち込ませないためには、旅行客が日本に来る前に、日本の動物検疫を知る機会を作ることが必要です。そのため、釜山側のチェックインカウンターにおけるポケットティッシュの配布やポスターの掲示など、それぞれの船会社へ協力を依頼しています。同様に船内でのアナウンスやポスター掲示も協力いただいています。

今回キャンペーンを実施したいずれの船も、400人の乗客を乗せることができます。今年4月には、対馬の厳原港での運航再開も予定されていますが、それだけ多くの方に情報を届ける機会と受け止め、今後も引き続き、関係機関との関係構築に努め、動物検疫の周知に取り組んで参ります。

この3港は釜山との距離も近く、船も毎日運航しており、安価で、高速船では短時間に、フェリーでは時間を有効に使いながら往来できるため、気軽に観光やレジャーの足として多くの方が航路を利用します。リピーターも多いため、肉製品が持ち込めないことを知人などに広めていただくこともできるよう、印象に残るような広報を模索していきたいと思っています。

### ・春節期の広報キャンペーン

(羽田空港支所)

令和6年2月7日、羽田空港支所において、植物防疫所と合同で春節期の広報キャンペーンを実施しました。

新型コロナウイルス感染症による入国制限が

解除された最初の春節、インバウンド旅客が押し寄せる中でのキャンペーンとなりましたが、本年も一般社団法人日本養豚協会の皆さん、東京都家畜保健衛生所の皆さんとのコラボが実現し、羽田空港を利用する多くの皆さんに、動物検疫及び植物防疫の制度が伝わったものと思います。特に、養豚協会から参加いただいた海外留学の経験がある会員のお一人が、英語で広報してくださっていたのがとても印象的でした。

到着ロビーでの広報、出発ロビーでの広報に続き、養豚協会の皆さん、東京都の皆さんには羽田空港の携帯品検査の現場を見ていただきました。到着動線コンコース上に設置してある自主廃棄ボックス、入国する全旅客が通過する検疫所ブース前の靴底消毒マット、空港内各所に掲示した広報用ポスターやデジタルサイネージの映像、擦り抜け防止用のセキュリティ・アンテナ、そして検疫探知犬や口頭質問を実施する家畜防疫官の姿など、羽田空港での厳格な水際検疫体制の現状を見ていただけたと思っています。



奇しくもキャンペーン当日は、我が国への定期旅客機、フェリー等が多く発着する韓国釜山近郊でASF（アフリカ豚熱）の感染が急激に拡大している旨、農林水産大臣が会見で注意喚起をした直後ということもあり、現場見学会終了後の意見交換会では、動物検疫所の水際での奮闘に謝辞をいただくと同時に、特に車両の消毒について一層の努力を期待する旨の御意見をいただきました。また、養豚協会の若い組合員にも水際検疫の現場を見せる機会を作るべきとの貴重な御意見をいただきました。

今後とも、生産者の皆さんと手を組み、国内防疫と水際防疫との強固な関係を維持していきたいと思っています。

## ・違反常習者の逮捕事例

(羽田空港支所)

令和6年2月12日、家畜伝染病予防法及び植物防疫法違反の疑いでミャンマー人1名が警視庁に逮捕されました。

当該者は、令和5年1月に羽田空港から入国する際、ソーセージ約0.2kgを隠匿するように所持しており羽田空港支所にて警告書を交付しましたが、以前にも成田支所で複数回の警告書の交付を受けており、悪質な違反常習者であるとして羽田空港支所から警視庁東京空港警察署に相談をしてきました。

以降、当該者は月1回のペースでミャンマーから大量の荷物を持って入国し、そのたびに全量開披検査を実施してきましたが、毎回30kgほどの荷物が詰まった布製やビニール製バッグ、段ボール箱を40個ほど携帯するため、警告書の発行も含めると検査対応に4～5時間は要していました。

荷物の中には植物類も含有していたため、植物防疫所の皆さんと協力しながら現物検査を実施し、警察への相談や捜査への協力も全て植防とともに合同で実施した結果、1回あたりの違反品の持込み量は多くはなかったものの、動物検疫所からの警告書9回、植物防疫所からの警告書12回をもって、家畜伝染病予防法・植物防疫法違反による同時逮捕に至りました。

当該者の搭乗する飛行機は早朝着又は夜間到着便であったにも関わらず当所の職員たちは大量の荷物を目の前に根気よく開披検査を実施し続けました。また、警視庁東京空港警察署刑事生活安全組織犯罪対策課保安係の皆さん、警視庁生活安全部生活環境課保健衛生第3係の皆さんの地道な捜査の結果、少量多回事案で逮捕してもらうことができました。

この逮捕を機に、毎日のように入国していた、違反品を含む大量の荷物を持ち込む他のミャンマー人が激減したこともあり、逮捕事案は一定の抑止力があるものと思われますので、これからも悪質な違反常習者に対しては、植物防疫所及び警察とも協力しながら厳格な対応を継続していこうと思います。

## ◎動物検疫関連情報

### ・旅客携帯品及び国際郵便物で持ち込まれた畜産物のウイルス汚染状況調査・定量的なリスク評価

(精密検査部危険度分析課)

令和6年1月より、旅客携帯品及び国際郵便物で持ち込まれた畜産物（輸入禁止品）のウイルス汚染状況調査を拡大しています。仕出国で販売・流通している畜産物のウイルス汚染状況を統計学的に推察し、動物検疫所におけるリスクベースの対応を推進することを目的としています。

併せて旅客携帯品及び国際郵便物で持ち込まれる畜産物の量を統計学的に推定することにより、輸入経路別・仕出国別の侵入リスク（アフリカ豚熱等の疾病が日本に侵入するリスク）を定量的に算出し、比較することが可能となります。これらの統計学的な推定手法は、リスク評価の専門家の意見も踏まえ、検討したものです。

動物検疫所には、限られた人的・物的資源を効果的に活用し、最大限のパフォーマンス（リスク低減）を行うことが求められており、エビデンスに基づく政策立案（Evidence-based Policy Making）を推進する観点からも、引き続き、科学的根拠に基づくリスクベースの検疫対応を進めてまいります。

#### 【ウイルス汚染状況調査の検査陽性事例】

(令和6年2月末時点)

旅客携帯品	アフリカ豚熱ウイルス遺伝子検査陽性事例	150例	うち4例でウイルス分離検査陽性
国際郵便物	アフリカ豚熱ウイルス遺伝子検査陽性事例	17例	

## ・動植物検疫探知犬の所内育成

(検疫部管理指導課)

動物検疫所では、家畜の悪性伝染病の海外からの侵入リスクに今後も長期的に対応していくため、携帯品検査の重要な役割を担っている動植物検疫探知犬（以下「探知犬」という。）を所内育成できる体制を構築することとしました。

まずは、探知犬として育成できる犬を探すところから始めます。これまで探知犬としてはビーグルやラブラドルレトリバーが活躍してきました。これらの犬種は、狩猟犬という血統から、においを頼りに仕事をする探知犬にピッタリです。これ以外にも、探知犬は旅客がたくさんいる中で活動しなければならないため、人や物音を怖がらないことも大事な素質です。そして、何より、探知のご褒美にもらえるおやつが大好きな食いしん坊であることが重要です！

このような探知犬に必要な素質を持った犬が他にもいるのではないかと、素質があれば保護犬などでも探知犬になれるチャンスがあるのではないかと考え、ビーグルやラブラドルレトリバー以外でも候補になる犬がいなかったかを検討しました。

探知犬の育成訓練は、社会化レベルの確認から開始します。社会化は、犬が人間社会で心地良く過ごすために必要であり、使役犬として働くための土台となるものです。具体的には、人や物、環境、音などいろいろな物事・状況で怯えや過度な興奮が出ないかを確認し、それらが出る場合には馴らす練習を行います。社会化ができていない犬に仕事をさせても、上手いかわからないばかりか、その犬にとっては幸せではありません。そのため、社会化に問題がないことを一定期間で確認できた場合のみ、探知犬になるための訓練を開始します。

探知犬になるための訓練では、肉製品や果物、野菜など、探知対象物のおいを覚えさせていくことから始めます。一口に「肉」といっても、豚肉、牛肉、鶏肉など多様な動物種がある上、生肉、干肉、ソーセージ、肉まんなど様々な加工度合いのものが、においの感じ方もそれぞれで異なります。そのため、いろいろなにおいを覚え

させていく必要があり、訓練過程の中で最も時間をかけて丁寧に行います。

探知犬が安定して自信を持って探知対象物のおいを識別できるようになったら、探知対象物を隠す状況を変化させていきます。例えば、ただの箱の中に探知対象物だけが入っている状況と、ハードスーツケースの中に探知対象物とそれ以外の食品が混在して入っている状況とでは、においの感じ方が異なります。様々な状況下で探知対象物のおいを見つけることができるように訓練をしていきます。

後半には、実際に働く空港で探知活動ができるよう、人が持っている荷物を嗅ぐ練習や床に物が散らかっていたりガヤガヤといろいろな音が鳴っている状況下で探知活動をする練習を行います。

そして、探知犬としてデビューする仕上げの段階として、空港へ連れて行き、旅客の中を歩く練習や実際の探知活動を行います。

こうした半年程度の訓練の末、今年度、動物検疫所が育成した探知犬3頭が誕生しました。

そのうち1頭はあさひ号という雑種の犬で、広島県動物愛護センターからきました。少し独特な感性がありますが、何に対しても物怖じしません。おやつへの意欲も高く、訓練を順調に進めることができたことから、今年度引退する探知犬の後任としてデビューが決定しました。ビーグル・ラブラドルレトリバー以外の犬種で、初めての探知犬が誕生しました。仕事中は、気になることがあると執拗なほど向かって行こうとし、その矛先が探知対象物になるととても強い反応を示してくれます。保護犬でも探知犬になれる可能性を大いに示してくれたあさひ号の今後の活躍に期待です。

もう1頭はラブラドルレトリバーのハナ号です。「社会の役に立つ犬にしたい。」というブリーダー様のもとからきました。どんなことがあっても笑顔で常に楽しそうにしています。初めて訓練をしたとき、まるで自分の使命が分かっていたかのようにすぐに探知対象物への反応を示してくれました。ハナ号も今年度引退する探知犬の後任としてデビューしました。

最後の1頭は、ななみ号というビーグルです。

探知犬になるために台湾から日本へきました。ところが、1月末に乳腺ガンという悪性の病気であることが判明し、すぐに手術をしたものの、非常に進行が早く、3月に入って亡くなりました。この犬ももとは台湾で捨てられていたところを保護された経緯があります。野犬生活が長かったせいか、水たまりの水を美味しそうに飲んだり、落ち葉に身体を埋めようとするなど変わった犬でしたが、怖いもの知らずな上、探知に対する意欲はとても高い犬でした。

亡くなったななみ号はじめ、今年度初めて所内で育成した3頭からは多くのことを教えてもらいました。今後も彼らの育成から得たものをさらなる糧に、よりよい育成訓練に取り組んでいきます。



あさひ号



ななみ号



ハナ号

## ・畜産物検査の分野で初のISO認定取得

(神戸支所 検疫課 苜蓿検疫場)

動物検疫所では、平成16年から検査の信頼性確保に取り組むため、GLP (Good Laboratory Practice) に基づき、検査手順などを文書化した標準作業書や各種要領を作成してきました。

また、平成23年度に国内で初めて家畜衛生分野でISO/IEC17025認定を取得しました。この規格は試験所認定と呼ばれ、認定を受けた組織は信頼性のある試験結果を生み出す技術力があることを国際的に保証されます。

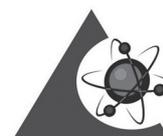
現在、動物検疫所では6か所の検査室において動物の疾病検査のISO認定を取得していますが、今回苜蓿検疫場で取得した「PCR法による畜種鑑別試験」は、動物検疫所では海外から持ち込まれる肉製品の畜種を確認するために用いられる検査で、畜産物の検査としては初めての認定取得となります。

神戸支所でISO取得に携わった経験のある職員は限られており、要求される書類は施設の管理から検査方法まで多岐にわたり、文書の新規作成や改正、専門用語や検証作業等、準備に多大な作業を要しました。しかし、文書の内容や記録の保管方法の見直し、検査室内の機器の配置等を改善することができ、さらに検証作業では、実際に検査を何度も繰り返し実施することで、家畜防疫官個々の検査技術を向上する良い機会となりました。

神戸支所苜蓿検疫場では、これからも信頼される検査室として、これらの取組みを継続していきます。

取得にあたり、管理指導課、病理・理化学検査課の皆様にご文書面及び技術面でアドバイスを頂きました。また、検体採取や試験所間比較等、他所の皆様にも御協力頂き今回の認定に至ったこと、この場を借りて感謝申し上げます。

ISO/IEC17025:2017



P.J.L.A.  
Testing  
認定No.71247

## ・精密検査部報告会特別講演会

(精密検査部微生物検査課)

精密検査部では、調査研究の進捗状況や各種研修の受講復命、検査対応事例等について、部内で報告する機会を増やすことにより、知識及び技術の向上を図ることを目的として、令和3年から定期的に「精密検査部報告会」を開催しています。第11回目の開催となる今回は、帯広畜産大学原虫病研究センターの井上昇先生を講師に招き、講演会を企画しました。

井上先生は、WOAH（国際獣疫事務局）のスーラ病のリファレンスラボラトリー専門家を務められています。動物検疫所の職員にとって本講演は貴重な機会であるため、全国の動物検疫所からも聴講できるよう、本所の会議室における対面とWEB会議システムとのハイブリッド形式で、令和6年1月19日に「精密検査部報告会特別講演会」として開催しました。

トリパノソーマ症は、家畜伝染病予防法上の届出伝染病であり、動物検疫所でも牛、馬等が輸入された際には全頭を採血し、血液塗抹鏡検により陰性を確認している重要な疾病です。講演会では、井上先生から「トリパノソーマ症の基礎知識とWOAHマニュアルに基づく診断に際して考慮すべき点」と題して、トリパノソーマ症の最新の知見やWOAHでの活動などについて御講演いただきました。

特に印象的だったのは、生きた原虫の動画により、それらの動きや形態の特徴について説明いただけたことで、原虫を見る機会が少ない我々にとって大変興味深く、貴重な経験となりました。また、各トリパノソーマ原虫の診断に最適な材料と検査法について、理由を交えてお話いただき、同じ *Trypanozoon* 亜属であるスーラ病と瘧疾の鑑別の困難さなどの事例はとて参考になりました。

講演会には、原虫病研究センターの横山直明先生（WOAHのピロプラズマ症のリファレンスラボラトリー専門家）も同席され、講演後は両先生と活発な質疑が行われ、大変有意義な講演会となりました。この場をお借りして、井上昇先生、横山直明先生に御礼申し上げます。

精密検査部では、今後もこのような最新の科学的知見に触れられる機会を設けていきたいと考えています。

## ・国内防疫支援に係る緊急派遣者実績と防疫資機材の貸付状況

(企画管理部危機管理課)

動物検疫所は、国内において高病原性鳥インフルエンザ、豚熱等の家畜伝染病が発生した際、都道府県を支援するため、家畜の殺処分等防疫作業、疫学調査や自衛隊を含めた関係機関との連絡調整のため家畜防疫官を現地に派遣しています。

<緊急派遣者実績>

令和5年1月1日～12月31日の間、家畜の殺処分等防疫作業、疫学調査や自衛隊を含めた関係機関との連絡調整のため、高病原性鳥インフルエンザの発生に伴い、家畜防疫官を延べ110名（人日）派遣し、また、豚熱発生に伴い、延べ19名（人日）派遣しました。

<防疫資機材の貸付状況>

令和5年1月1日～令和6年2月29日の間に、高病原性鳥インフルエンザ発生に伴い医療用廃棄物容器、ボンベ用ホーン等を、豚熱発生に伴い電気殺処分機、医療用廃棄物容器等を貸し出しました。



(医療用廃棄物容器の搬出の様子)

今後も我が国の畜産振興に貢献できるよう、有事の際に動物検疫所職員一丸となって国内防疫支援を行ってまいります。

## ◎所内情報 ・退任に当たって

(羽田空港支所前支所長 川田良浩)

この度、令和6年3月31日をもって退職することとなりました。本誌が皆様のお手元に届く頃には羽田空港支所も新たな支所長の下で業務が遂行されていることと思います。

平成3年4月に動物検疫所に採用され成田支所勤務から役人としての人生が始まったわけですが、今から思えば、動検だけでなく本省や他省庁での勤務も経験させていただき、その時に遭遇した多くの出来事が今の私の礎になっていることは間違いがありません。

幸いにも、私には困難な場面に遭遇するたびに同僚や上司から目に見えない救いの手を差し伸べていただき、それを乗り越えることができました。すでに、他界されてしまっている方々もいらっしゃいますが、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。その恩返しを後輩たちにしてあげられなかったことが、私の心残りです。申し訳ありません。

最後に、最近読んだ本の中で印象に残っているフレーズを紹介します。それは、誰もが聞いたことのある大企業の幹部の方のお言葉で「困らない奴ほど、困った奴はいない。」というものです。これは、「困らない奴」というのは「困っていない人」のことを指し、「問題に気付いていない人」を表現しているのだそうです。企業にとってそういった人ほど「困った奴」はいないということです。

我々の世界でも「困ったこと」はたくさんあるはずですが、そういったこと一つ一つに対して皆さんが向き合い、解決のために考えを巡らせることがいかに大切で重要なことであるか。そうすれば、今よりももっともっと働きやすい良い職場になるのではないかと考えます。それができなかった私ですが、あとは皆さんに託します。この後の動検を大切に育て上げてください。よろしく願います。

## ・退任の挨拶（思い出の勤務地）

(中部空港支所前次長 浅井雅俊)

大阪府豊中市蛍池西町3-555。昔、ここに動物検疫所神戸支所大阪空港出張所がありました。成田で採用から4年間勤務し、平成2年4月に私が初めて異動したのが大阪空港出張所。当時はバブル経済の真ただ中。多くの人が海外旅行に出掛け、牛肉が輸入自由化前だったこともあり、旅具検査カウンターは、常にキャリオンビーフ（手荷物として持ち込まれる牛肉）で溢れている時代でした。

また、大阪空港出張所には小規模ながら犬の係留施設があり、と場直行牛などの大動物の到着もあったことから、輸出入犬の検査や臨機検査といった生体動物の業務も行いました。さらに、大阪には製薬会社が多く、関東と比べて牛肉を消費する食文化であったことから、航空貨物として血液、血清を含む検査キットや試薬、内臓肉を中心とした牛肉等の畜産物も当時の成田と変わらないくらい輸入されていました。

これらの検査業務を出張所長以下7名で対応する毎日。少人数の職場であるため若手であっても、自ら判断し輸出入者や申請者に説明する機会が多く、検査方針を決めることも度々ありました。この時の航空貨物検査の経験は、私が法令、通知等に馴染むきっかけとなり、科学的根拠を求めて常に情報を収集し、勉強を続ける癖をつけることにもつながりました。

現在、指定検疫物等の航空貨物での輸入は大空港に集中しています。このため若い時期に航空貨物の検査経験を豊富に積める家畜防疫官はごく限られていると思います。私は、大きな港で検査要員として貨物検査業務に携わった経験は少ないのですが、代わりに大阪国際空港で、家畜防疫官として価値のある時間を送ることができました。そんな私も昨年60歳になりました。3月一杯で次長を退任し、一つの区切りを迎えました。今後、別の立場で動物検疫所にお世話になるつもりですので、もう少しお付き合い下さい。

## ・退任の挨拶

(関西空港支所前次長 鳥山真由美)

令和6年3月31日をもちまして、現在の役職を退任することになりました。これまで多くの方々の温かいサポートを受けて本日を迎えることができました。過ぎてしまえば早いものですが、充実した時間を過ごすことができました。心よりお礼申し上げます。

私が農林水産省職員としてスタートを切ったのは、昭和61年です。再編整備前の当時は鳥取種畜牧場という名称で、女性職員ははじめての配属でした。職員の皆様方には、職場環境の改善等に取り組んでいただきました。その後、中国種畜牧場、家畜改良センター兵庫牧場などを経て、国際協力事業団（現・国際協力機構）家禽飼養管理の事前調査団でバングラデシュに行かせていただきました。この経験が私の意識を変えることとなり、海外勤務を希望したところ、平成7年に動物検疫所東京出張所に配属され続いて、同所成田支所などを経て農林水産省本省に異動しました。

本省で、WOAH(OIE)関係などでは海外関係者の方々と仕事をさせていただき、大変貴重な体験となりました。難しい局面や挫折しそうになった時には、上司や同僚が目的に向かって引っ張ってくれました。そして、動物検疫所門司支所博多出張所に戻り、これまでの経験を踏まえて、自分の中でできることを一つずつ行うことで、色々気づくことができました。平成22年の口蹄疫発生時には宮崎県の方々と一丸となって対応させていただきました。

38年間の公務員生活で17回の異動を経験しましたが、失敗しても前向きに転ぶことも教わりました。経験を積んでいく中で挫折や失敗も振り返ると全てに価値があったと思います。

今後、立場は変わりますが、これからも皆様との経験を活かして、動物検疫所の職員として業務を行ってまいります。引き続きお世話になりますが、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

## ・令和5年度感謝状贈呈

(総務部庶務課)

令和5年度は、フィリピンからの輸入禁止品の不正持込に関する捜査を行い、実行犯に加え販売店及び送り主と事件に関与したすべての者を逮捕するなど、動物検疫所の業務に大いに貢献された、福岡県警察本部生活安全部生活経済課及び福岡県警察福岡空港警察署生活安全刑事課に感謝状を贈呈しました。

## ・令和5年度動物検疫所アワード表彰

(総務部庶務課)

令和5年度は、以下の1名、1グループを表彰しました。

両者は、海外から家畜伝染病を国内に侵入させないという動物検疫所の使命を果たすため、強い熱意をもって長期にわたり粘り強く取り組んだ結果、動物検疫所の業務の向上が図られ、その功績を表彰したものです。

### 【小岩義則技官（関西空港支所）】

中国からの旅客が増加する中、日本語や英語を話せない中国人が多く円滑なコミュニケーションを図ることが困難、中国特有の食文化により肉製品等であるか否かの判断が困難という課題がありました。小岩技官は自身が中国に留学していた経験を活かし、加えて最近の中国事情を積極的に収集し、携帯品検査時に有効な中国語のフレーズ、肉と誤りやすい特殊な食品の見分け方、季節に応じた中国の食文化等を取りまとめて、平成29年8月から48回に渡って家畜防疫官全員にメールマガジンを配信し、中国人旅客の携帯品検査円滑化に大きく貢献されました。

### 【仙台空港出張所 職員一同】

地方空港においても海外からの旅客が急増し、動植物検疫探知犬（以下「検疫探知犬」という。）を活用して国際旅客便の水際対応を強化している中で、仙台空港では検査場が狭隘であり税関の麻薬探知犬と検疫探知犬との干渉により両探知犬の同時探知が困難という課題がありました。仙

台空港出張所では両探知犬の同時探知の可能性を粘り強く模索し、税関と当所が独自に運用していた通信を、探知活動を行うリーダーが共有、直接交信することによって双方の探知犬の位置や導線等の情報が共有され、同一便・同時探知を実現しました。このことによりアフリカ豚熱発生国から到着するすべての国際旅客便に対して効果的な探知活動が可能となり、同空港における水際対応の強化に貢献しました。

### ・令和5年度における動物検疫所（本所）の見学等

（統括検疫管理官）

動物検疫所では、当所の業務や水際防疫の重要性を理解し、興味を持ってもらうため、職場見学やインターンシップ等を通じた情報提供を推進しているところです。

令和5年度は獣医系・畜産系分野専修の大学生等を中心に、横浜本所では以下の見学者を受け入れました。

- 7月6日 技術系職員採用試験受験者 5名
- 7月19日 技術系職員採用試験受験者 3名
- 7月26日 技術系職員採用試験受験者 3名
- 8月16日 高校生1名、小学生1名  
（職場見学）
- 9月14日 畜水産安全管理課インターンシップ生 2名
- 1月12日 短期外学校学生職場見学 1名
- 3月7日 畜水産安全管理課インターンシップ生 2名

上記以外にも当所主催のインターンシップを7～9月に実施し、134名（獣医系70名、畜産系64名）の学生さんにご参加いただきました。また、大学のキャンパス等に直接職員が赴き、対面での講義や業務説明会も積極的に実施しています。

今後も当所の業務の理解を深めてもらうため、見学、業務説明会等を幅広く実施していきたいと考えています。また、見学は全国各所の動物検疫所において随時受け付けています。さらに、イン

ターンシップを令和6年度も実施する予定で、5月中旬～6月中旬に各大学の窓口を通じて募集を行いますので、ご興味ある方はぜひご応募ください。

### ・令和5年度研修実績（調査課主催分）

（企画管理部調査課）

#### 【初任者合同研修】

期間：令和5年6月6日～8日

場所：横浜本所

人数：32名

内容：業務に対する基本的な姿勢・心構えを習得させること及び職員として必要とされる基礎的な知識の習得

#### 【新規採用者集合研修（前期・後期）】

期間：令和5年9月26日～28日（前期）

令和6年3月12日～14日（後期）

場所：横浜本所

人数：前期23名、後期7名

内容：初任者合同研修以外の基礎的な業務知識とプレゼンテーションによる説明能力の向上

#### 【家畜防疫官（行政1）研修】

期間：令和5年10月24日～26日

場所：横浜本所

人数：10名

内容：所内業務の効率化、合理化を計るための講義や各所の事案を持ち寄ったワーキンググループ、若い職員を指導・教育するための外部講師によるOJT研修

#### 【家畜防疫官（行政2）研修】

期間：令和5年11月28日～29日

（主任対象）

場所：WEB

人数：主任10名

内容：主任検疫官のリーダーシップ向上や管理職級としての意識醸成のためのOJT研修、各支所の事案を持ち寄ったワーキンググループ

## 【家畜防疫官（技術1、2）研修】

期間：1：令和5年11月7日～8日  
2：令和5年12月19日～20日

場所：横浜本所

人数：各4名

内容：精密検査に必要な知識・技術（実技含む）の付与（SDS検査とアフリカ豚熱検査リアルタイムPCR）

## 【管理職昇任予定者向け研修】

期間：令和6年3月22日

場所：横浜本所

人数：9人

内容：管理職に必要な基礎知識の習得

## ・人事異動

（令和6年1月2日～令和6年4月1日）

（総務部庶務課）

※出張所長・課長級以上の異動、動検外異動、新規採用（期間を空けず採用された任期付職員は除く）、退職に係る異動を掲載

（令和6年2月1日）

橋本 脩 神戸支所岡山空港出張所（中国四国農政局生産部畜産課畜産物輸出産地育成係長）

（令和6年3月25日）

加藤 政治 成田支所付（外務省在ナイジェリア日本国大使館一等書記官）

（令和6年3月30日）

佐藤由紀乃 独立行政法人家畜改良センター改良部生産衛生課付（門司支所検査第2課）

（令和6年3月31日）

井川 幸造 総務部付（独立行政法人家畜改良センター兵庫牧場総務課長）

井川 幸造 退職（総務部付）

川田 良浩 退職（羽田空港支所長）

角田 隆則 退職（門司支所長）

本田 恵美 退職（成田支所旅具検査第3課上席

主任検査官）

水城 恵美 退職（羽田空港支所検査第2課主任検査官兼成田支所旅具検査第2課付）

菅谷 花菜 退職（検査部管理指導課）

武田侑里香 退職（成田支所旅具検査第1課）

富田 智優 退職（成田支所旅具検査第2課）

園田 早紀 退職（羽田空港支所検査第1課）

栗栖 亜紀 退職（門司支所博多出張所）

岡村 優実 退職（沖縄支所検査課）

木下 貴司 任期満了（成田支所旅具検査第2課（再任用））

栗村 恵 任期満了（検査部畜産物検査課兼検査部動物検査課（任期付採用））

石渡 祥子 任期満了（精密検査部微生物検査課（任期付採用））

牧野 美紀 任期満了（川崎出張所（任期付採用））

北爪 惣 任期満了（北海道・東北支所検査課（任期付採用））

金 寛史 任期満了（成田支所旅具検査第1課（任期付採用））

小山石真紀 任期満了（成田支所旅具検査第2課（任期付採用））

南 寿美子 任期満了（成田支所旅具検査第2課（任期付採用））

内田 央 任期満了（羽田空港支所東京出張所（任期付採用））

棟居 佳子 任期満了（中部空港支所検査課（任期付採用））

八王子元美 任期満了（神戸支所大阪出張所（任期付採用））

長倉 基裕 任期満了（成田支所旅具検査第2課（臨時的任用））

大野 奈生 任期満了（羽田空港支所検査第1課（臨時的任用））

今村 一志 任期満了（中部空港支所検査課（臨時的任用））

大池 辰也 任期満了（中部空港支所検査課（臨時的任用））

吉山 祐吾 任期満了（関西空港支所検査第1課（臨時的任用））

城田有佳理 任期満了（神戸支所検査課（臨時的任用））

大石 紀夫 任期満了（門司支所博多出張所（臨時的任用））

高根 浩太	任期満了(門司支所福岡空港出張所(臨時的任用))	横山理恵子	総務課課長補佐
岩村 智子	任期満了(沖縄支所那覇空港出張所(臨時的任用))	青野 幹広	北海道・東北支所仙台空港出張所長(精密検査部危険度分析課長)
渡辺 誠	独立行政法人家畜改良センター総務部総務課課長補佐兼独立行政法人家畜改良センター総務部管財課付(動物検疫所総務部会計課国有財産係長)	加藤 政治	成田支所調整指導官(成田支所旅具検疫第1課長)
永田 彩華	神奈川県県央家畜保健衛生所防疫課技師(成田支所貨物検査課)	三上 康史	成田支所統括検疫管理官(成田支所付)
西村 和津	愛知県東部家畜保健衛生所保健衛生課技師(成田支所旅具検疫第1課)	梶本 綾子	成田支所庶務課長(畜産局競馬監督課競馬監督官)
北條 巧	愛知県東部家畜保健衛生所保健衛生課主任(門司支所検疫第2課)	大川 裕人	成田支所旅具検疫第1課長(成田支所統括検疫管理官)
佐倉 由美	熊本県中央家畜保健衛生所防疫課参事(門司支所検疫第2課)	久保 顕志	成田支所旅具検疫第3課長(成田支所旅具検疫第1課上席主任検疫官)
(令和6年4月1日)		鈴木 剛史	成田支所動物検疫第2課長(羽田空港支所検疫第1課上席主任検疫官)
珠玖 知志	企画管理部長(東北農政局地方参事官)	桐原 志保	成田支所貨物検査課長(神戸支所検疫課主任検疫官)
千葉 昌彦	北海道・東北支所長(北海道・東北支所仙台空港出張所長)	刈込 高德	羽田空港支所統括検疫管理官(神戸支所米子空港出張所長)
國保 直子	羽田空港支所長(企画管理部長)	江崎由妃子	羽田空港支所庶務課長(北海道・東北支所庶務課長)
林 政益	門司支所長(北海道・東北支所長)	平賀 英子	中部空港支所調整指導官(関西空港支所検疫第3課長)
瀬戸 秀佳	中部空港支所次長(企画管理部危機管理課長)	勢古貴九秀	中部空港支所名古屋出張所長(成田支所貨物検査課長)
淵上佐知子	関西空港支所次長(神戸支所次長)	笹田 陽子	関西空港支所統括検疫管理官(成田支所調整指導官)
河本 俊博	神戸支所次長(成田支所旅具検疫第3課長)	百瀬 智子	関西空港支所検疫第2課長(成田支所動物検疫第2課長)
玉置 敦	総務部会計課長(大臣官房予算課企画官)	岩中 麻里	関西空港支所検疫第3課長(沖縄支所調整指導官)
吉田 英二	企画管理部危機管理課長(沖縄支所那覇空港出張所長)	中村 毅	神戸支所統括検疫管理官(精密検査部海外病検査課長(中部検査・診断センター駐在))
草刈 恵	検疫部動物検疫課長(検疫部畜産物検疫課上席主任検疫官)	丸川 義文	神戸支所庶務課長(農林水産研修所研修企画官)
福原 久江	精密検査部海外病検査課長(中部検査・診断センター駐在)(検疫部動物検疫課長)	石井 正洋	神戸支所米子空港出張所長(神戸支所岡山空港出張所主任検疫官)
竹川 正興	精密検査部危険度分析課長(北海道・東北支所調整指導官)	佐藤 一之	門司支所庶務課長(沖縄支所庶務課長)
柳澤 成江	北海道・東北支所調整指導官(関西空港支所検疫第2課長)	菊地 和広	沖縄支所調整指導官(羽田空港支所統括検疫管理官)
佐々木妥之	北海道・東北支所庶務課長(独立行政法人家畜改良センター十勝牧場)		沖縄支所庶務課長(畜産局競馬監督課競馬監督官兼内閣官房ギャンブル等依存症対策推進本部事務局局員)

鈴木 章則	沖縄支所那覇空港出張所長(神戸支所統括検疫管理官)	相場 俊樹	羽田空港支所東京出張所(経営局保険監理官付家畜班指導係長)
橋本 舞湖	総務部庶務課課長補佐(畜産局総務課総務班管理・厚生係長)	鈴木 貞彦	中部空港支所庶務課庶務係長(名古屋植物防疫所中部空港支所庶務課庶務係長)
福田もと美	精密検査部危険度分析課主任検疫官兼検疫部畜産物検疫課付(内閣府食品安全委員会事務局情報・勧告広報課交流係長)	井戸 治可	関西空港支所庶務課庶務係長(近畿農政局和歌山平野農地防災事業所庶務課庶務係長)
浅井 雅俊	成田支所貨物検査課主任検疫官(役職定年：中部空港支所次長)	轉馬 創	門司支所検疫第2課(独立行政法人家畜改良センター岩手牧場衛生課防疫係長)
尾藤麻希子	羽田空港支所検疫第1課上席主任検疫官(畜産局畜産振興課畜産専門官兼大臣官房秘書課付)	後藤 達郎	門司支所検疫第2課(愛知県東部家畜保健衛生所保健衛生課主任)
岡崎 崇	羽田空港支所検疫第2課主任検疫官兼企画管理部企画調整課付(畜産局食肉鶏卵課食肉流通班食肉流通推進第1係長)	小平貴都子	門司支所鹿児島空港出張所(独立行政法人家畜改良センター調査役(宮崎牧場担当))
岩崎 邦洋	中部空港支所検疫課主任検疫官兼中部空港支所名古屋出張所付(役職定年：中部空港支所名古屋出張所長)	三方 勇人	総務部庶務課(畜産局総務課)
渡邊 富義	関西空港支所検疫第3課主任検疫官(役職定年：関西空港支所統括検疫管理官)	南 寿美子	成田支所旅具検疫第2課(選考採用)
鳥山眞由美	神戸支所検疫課主任検疫官兼関西空港支所検疫第1課付(役職定年：関西空港支所次長)	佐藤由紀乃	門司支所検疫第2課(選考採用)
藤山 照之	総務部庶務課人事第1係長(消費・安全局動物衛生課総務班庶務係長)	北爪 惣	北海道・東北支所検疫課(選考採用)
大島 芙美	企画管理部企画調整課(神奈川県中央家畜保健衛生所防疫課主任技師)	金 寛史	成田支所旅具検疫第2課(選考採用)
柏倉 将斗	企画管理部企画調整課(愛知県東部家畜保健衛生所保健衛生課技師)	猪谷 直子	総務部庶務課(新規採用)
近内 将記	検疫部動物検疫課(神奈川県中央家畜保健衛生所病性鑑定課技師)	田代 凜	門司支所庶務課(新規採用)
竹下 アミ	成田支所旅具検疫第1課(消費・安全局動物衛生課付(国際派遣：国際獣疫事務局アジア太平洋地域事務所))	八木ひかり	企画管理部企画調整課(新規採用)
白藤香菜子	成田支所旅具検疫第1課(熊本県中央家畜保健衛生所防疫課参事)	高橋 彩乃	検疫部動物検疫課(新規採用)
君島 美和	成田支所旅具検疫第2課(消費・安全局食品安全政策課微生物管理班推進係長)	文屋 侑子	検疫部動物検疫課(新規採用)
石橋 恵	羽田空港支所検疫第2課(畜産局畜産振興課技術第2班繁殖・育種係	池田 愛美	検疫部動物検疫課兼消費・安全局動物衛生課(新規採用)
		折原 春佳	検疫部動物検疫課兼消費・安全局動物衛生課(新規採用)
		片岡 夏野	検疫部動物検疫課兼消費・安全局動物衛生課(新規採用)
		徳永 美沙	検疫部動物検疫課兼消費・安全局動物衛生課(新規採用)
		長谷部仁士	検疫部動物検疫課兼消費・安全局動物衛生課(新規採用)
		小林 郁斗	検疫部動物検疫課兼消費・安全局畜産安全管理課(新規採用)
		荒井 愛梨	検疫部畜産物検疫課(新規採用)
		大枝 夏希	精密検査部危険度分析課(新規採用)
		山入 亮	川崎出張所(新規採用)

笹原 千聖	北海道・東北支所検疫課（新規採用）		
高橋 侑登	北海道・東北支所検疫課（新規採用）		
新保 彩	成田支所旅具検疫第1課（新規採用）		
山田龍一郎	成田支所旅具検疫第1課（新規採用）		
室木 菜緒	成田支所旅具検疫第2課（新規採用）		
本橋由理奈	成田支所旅具検疫第2課（新規採用）		
石塚 紫花	成田支所貨物検査課（新規採用）		
小松崎雪乃	成田支所貨物検査課（新規採用）		
安澤 凜	羽田空港支所検疫第1課（新規採用）		
小林 香梅	羽田空港支所検疫第1課（新規採用）		
寺島 直哉	羽田空港支所検疫第1課（新規採用）		
永江あさひ	羽田空港支所検疫第1課（新規採用）		
中山 友希	羽田空港支所検疫第1課（新規採用）		
赤羽 杏水	中部空港支所検疫課（新規採用）		
太田 唯月	中部空港支所検疫課（新規採用）		
武内 駿	中部空港支所検疫課（新規採用）		
荻根澤 凌	関西空港支所検疫第1課（新規採用）		
坂本 琉花	関西空港支所検疫第1課（新規採用）		
藤原 鈴郁	関西空港支所検疫第1課（新規採用）		
塩見 双葉	関西空港支所検疫第3課（新規採用）		
福島 沙耶	関西空港支所検疫第3課（新規採用）		
柏木 鈴葉	神戸支所検疫課（新規採用）		
白石 賢輝	門司支所検疫第1課（新規採用）		
山田 晴菜	門司支所検疫第3課（新規採用）		
井川 幸造	総務部会計課行政専門員（再任用）		
中道 愛幸	羽田空港支所検疫第1課（任期付採用）		
福山 浩司	大臣官房予算課課長補佐（主計班担当）（総務部会計課長）		
清水 豪	畜産局総務課課長補佐（政策評価）		
			（成田支所庶務課長）
犬飼 悟史			畜産局競馬監督課競馬監督官（羽田空港支所庶務課長）
佐藤 利秋			神戸植物防疫所会計課長（神戸支所庶務課長）
棟方 篤			独立行政法人農林水産消費安全技術センター総務部総務専門官（門司支所庶務課長）
高嶋 宏樹			大臣官房新事業・食品産業部新事業・食品産業政策課商品取引専門官（総務部庶務課課長補佐）
梅村 幸子			畜産局食肉鶏卵課業務推進専門官（川崎出張所主任検疫官兼企画管理部企画調整課付）
小川 倭			畜産局畜産振興課企画班家畜改良企画係長兼大臣官房秘書課付（関西空港支所検疫第1課）
松上 祐太			消費・安全局総務課総務班人事第2係長（総務部庶務課人事第1係長）
漆崎 祥平			消費・安全局動物衛生課付（国際派遣：国際獣疫事務局アジア太平洋地域事務所）（成田支所動物検疫第1課）
竹内 健太			消費・安全局食品安全政策課微生物管理班推進係長（成田支所旅具検疫第2課）
佐藤晃一郎			東海農政局統計部調整課統計調整係長（中部空港支所庶務課庶務係長）
尾ノ上千夏			九州農政局生産部畜産課草地事業係長（門司支所福岡空港出張所）
眞鍋 大実			九州農政局生産部畜産課畜産物輸出産地育成係長（門司支所福岡空港出張所）
兒嶋 瑠美			内閣府食品安全委員会事務局情報・勧告広報課交流係長（羽田空港支所東京出張所）
長岡 功祐			内閣府カジノ管理委員会事務局総務企画部総務課国会係長（総務部会計課調達係長）
永谷和花穂			畜産局総務課（総務部会計課）
山本 将大			畜産局総務課（羽田空港支所庶務課）
杉浦 大心			中国四国農政局生産部畜産課（関西空港支所検疫第1課）

## ◎畜産物・動物の輸出入検疫数量実績（令和5年12月、令和6年1月、2月）

### ●輸入畜産物（前年同月比）

12月分全体の輸入量は前年同月比99.9%と同程度、1月分全体の輸入量は前年同月比101.1%、2月分全体の輸入量は前年同月比102.2%と増加しました。

### ●輸出畜産物（前年同月比）

12月分全体の輸出量は前年同月比100.1%と同程度、1月分全体の輸出量は前年同月比104.4%、2月分全体の輸出量は前年同月比108.0%と増加しました。

（単位：KG、アンプル、個）

品目名		輸入			輸出			
		12月	1月	2月	12月	1月	2月	
骨類	骨	1,168,205	1,199,630	1,186,639	4,220	2	3,030	
	碎骨	1,051,190	1,065,962	1,067,911	—	—	—	
	蹄角	3,347	16,364	2,330	—	1	—	
	骨髄	78,877	30,862	42,976	—	4	—	
	蹄角粉	18,000	82,000	82,000	—	—	—	
	その他の骨	—	—	—	—	—	—	
	計	2,319,619	2,394,818	2,381,857	4,220	7	3,030	
肉類	牛肉	冷蔵	18,698,321	21,093,260	14,952,196	422,478	299,168	378,253
		冷凍	23,345,401	30,101,352	25,155,033	393,387	332,314	291,340
		その他	5,664	6,603	7	—	—	—
		加熱処理	36,698	45,312	26,178	—	—	—
	豚肉	冷蔵	30,710,956	34,541,505	31,976,598	3,224	740	1,012
		冷凍	46,046,426	53,514,342	43,652,193	147,582	138,547	183,148
		その他	1,633	—	24,405	—	—	—
		加熱処理	781,439	659,707	615,822	—	—	—
	めん羊肉	1,315,520	1,800,838	1,410,061	—	—	—	
	山羊肉	3,010	22,996	36,887	—	—	—	
	鹿肉	3,448	1,350	—	—	1,037	2	
	その他の偶蹄類肉	—	—	—	—	—	—	
	加熱処理その他の偶蹄類肉	—	6	—	—	—	—	
	ハム	207,541	134,462	159,653	18	10	24	
	加熱処理ハム	12,917	20,875	6,849	—	—	—	
	ソーセージ	1,081,290	699,265	753,975	37	553	63	
	加熱処理ソーセージ	887,531	680,344	648,667	—	—	—	
	ベーコン	51,146	127,929	20,719	40	40	40	
	加熱処理ベーコン	2	1	10	—	—	—	
	馬肉	331,387	468,748	444,046	—	—	—	
	うさぎ肉	151	243	5,324	—	—	—	
	犬肉	—	—	—	—	—	—	
	家さん肉	53,724,051	58,416,952	60,194,519	321,208	227,538	438,053	
家さん加熱処理肉	37,730,492	33,525,763	30,356,455	—	—	—		
非加熱 その他の肉	牛	576,973	897,645	298,186	74	1	—	
	豚	204,033	156,273	115,063	8	8	8	
	家さん	98,922	148,594	91,391	37,146	27,036	4,963	
加熱処理 その他の肉	その他	58,216	87,799	40,510	23,111	10,032	40,634	
	牛	99,948	113,834	105,800	—	—	—	
	豚	3,469,750	2,683,402	2,528,181	—	—	—	
	家さん	3,153,589	3,064,803	2,021,327	—	—	—	
その他	456,166	387,596	404,611	—	164	—		
計	223,092,618	243,401,798	216,044,664	1,348,314	1,037,188	1,337,540		
臓器類	牛臓器	115,873	92,970	81,036	8	38	29	
	豚臓器	95,296	145,998	51,661	2,600	4,600	2,140	
	その他の偶蹄類臓器	14,498	19,173	9,173	—	14	—	
	加熱処理牛の臓器	—	—	—	—	—	—	
	加熱処理豚の臓器	—	—	—	—	—	—	

	品目名	輸入			輸出		
		12月	1月	2月	12月	1月	2月
臓器類	加熱処理その他の偶蹄類臓器	—	—	—	—	—	—
	偶蹄類以外の臓器	84,409	18,409	84,420	301	1,058	1,569
	消化管等	3,183,048	3,024,384	2,275,485	1,923	2,300	3,298
	加熱処理消化管等	—	—	—	—	—	—
	ケーシング	410,154	246,543	264,930	—	—	—
	脂肪	2,914,079	2,077,999	2,849,264	3,130	—	550
	非加熱その他の臓器	512	1	16	—	—	—
	加熱処理その他の臓器	—	—	—	—	—	—
	加熱処理家きん臓器	162,860	195,619	144,199	—	—	—
	加熱処理その他の家きん臓器	7,790	7,805	10,678	—	—	—
計	6,988,519	5,828,901	5,770,862	7,962	8,010	7,586	
卵類	殻付卵	0	6,903	47,200	1,532,423	1,352,150	1,696,327
	液卵	832,951	543,207	331,526	—	5,750	68
	その他の卵	2	—	—	10,089	10,569	19,306
	計	832,953	550,110	378,726	1,542,512	1,368,469	1,715,701
皮類	牛皮	1,577,093	2,653,706	1,712,363	1,919,010	1,061,424	1,298,341
	豚皮	79,221	61,633	61,436	5,130,818	4,765,207	5,547,524
	めん羊皮	176,858	164,918	—	—	—	—
	山羊皮	—	—	—	—	—	—
	鹿皮	22,632	15,766	25,296	—	—	—
	その他の偶蹄類の皮	—	—	—	—	—	—
	馬皮	46,592	46,570	95,830	—	—	—
	うさぎ皮	31,920	26,880	—	—	—	—
	犬皮	—	—	—	—	—	—
	その他の皮	—	—	—	—	—	—
計	1,934,315	2,969,473	1,894,925	7,049,828	5,826,631	6,845,865	
毛類	牛毛	—	—	—	—	—	—
	豚毛	2,938	1,262	3,775	—	—	—
	羊毛	—	—	—	—	—	—
	山羊毛	3,363	16,535	8,426	—	—	—
	鹿毛	—	—	—	—	—	—
	その他の偶蹄類の毛	5,600	7,824	375	—	—	—
	馬毛	2,564	15,331	75	—	—	—
	うさぎ毛	—	1,280	320	—	—	—
	羽毛	119,617	122,202	58,469	11,364	36,497	29,905
	犬毛	—	—	—	—	—	—
その他の毛	—	—	—	—	5,015	6,287	
計	134,081	164,434	71,440	11,364	41,513	36,192	
乳製品類	チーズ	17,580,424	19,348,763	19,221,890	57	423	321
	バター	2,790,721	2,004,535	1,660,692	254	504	2
	偶蹄類動物の飼料用乳製品	2,989,322	4,352,471	4,795,917	—	—	—
	その他の乳製品	6,345,457	6,092,963	5,282,295	171,252	128,850	167,819
	計	29,705,924	31,798,731	30,960,795	171,563	129,777	168,141
ミール類	血粉	239,623	214,309	210,903	—	—	—
	肉粉	11,010	19,765	10,057	—	—	—
	肉骨粉	—	—	—	—	—	—
	皮粉・羽毛粉	—	—	—	—	—	—
計	250,633	234,073	220,960	0	0	0	
その他	精液（アンプル）	52,202	72,170	78,988	—	—	—
	受精卵（個）	106	83	13	—	—	—
	ふん・尿	12	—	6	—	—	—
	計	12	—	6	—	—	—
わら類	穀物のわら	18,356,030	15,688,360	16,784,780	—	—	—
	飼料用の乾草	—	—	—	—	—	—
	その他	102,340	203,740	113,480	—	—	—
	計	18,458,370	15,892,100	16,898,260	0	0	0
総計	283,717,032	303,234,439	274,622,488	10,135,763	8,411,595	10,114,055	

※ 解放重量ベースの速報値

(単位：頭、羽、個、群)

動物名	用途	輸入			輸出		
		12月	1月	2月	12月	1月	2月
牛	乳用繁殖用	—	—	—	—	—	—
	肉用繁殖用	—	—	—	—	—	—
	肥育用	—	—	—	—	—	—
	と畜場直行用	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—
豚	繁殖用	94	—	146	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—
めん羊		—	—	—	—	—	—
山羊		—	—	—	—	—	—
その他の偶蹄類		—	—	—	—	—	—
馬	繁殖用	77	33	16	—	—	1
	乗用	27	3	3	—	1	—
	競走用	24	7	27	3	—	25
	肥育用	399	397	784	—	—	—
	と畜場直行用	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—
その他の馬科		—	—	—	—	—	—
うさぎ		4	4	109	26	2	1
初生ひな（鶏）		11,220	24,923	31,122	—	—	—
初生ひな（その他）		—	—	—	—	—	—
種卵（個）		—	—	—	—	—	—
蜜蜂（群）		—	—	—	—	—	—
指定検疫物以外の動物					7,545	6,569	6,227
犬		791	741	527	668	617	428
猫		344	347	287	332	279	262
あらいぐま		—	—	—	—	—	—
きつね		—	—	—	—	—	—
スカンク		—	—	—	—	—	—
サル		1,034	—	1,536			

※ 解放頭羽数ベースの速報値



動物検疫所のホームページでは過去に発行された動検時報を掲載しています。左のQRコードから過去の動検時報をご覧ください。

URL : <https://www.maff.go.jp/aqs/topix/pamphlet/backnumber.html>

## ◎動検通信（沖縄支所）

長らく続いたコロナ禍を抜け、旅行需要は戻っても、慢性人手不足の沖縄県では人材不足から受入態勢が整わず、離島の国際定期便は、まだ戻って来ていません。そんな中でも、コロナ禍前日本一の寄港数を誇った沖縄のクルーズ船は、ハイペースで復活を遂げました。殊に年が明けて季節が春になると（沖縄では桜は1月に咲きます）、各クルーズは本気モードになり、週に7 - 10便のペースで那覇港、石垣港、平良港（宮古島）に入港しています。

ところで、沖縄のイメージといえば、「青い海、青い空、白いサンゴ砂、風にそよぐヤシの葉」ですよね？私も沖縄支所に赴任するまでそう思っていました。

海洋性気候で亜熱帯に位置する沖縄県は、実際に生活してみると「コロコロ変わる空模様、当てにならない天気予報、急に現れる巨大な積乱雲（そして突然の片降り）、容赦なくライフゲージを削ってくる日差し、と思えば冬は基本的にどんより（でも要紫外線対策）、吹き付ける海風は（涼しいが）心地よいより、ちょいちょい暴風（そこまで来た大型クルーズ船が着岸を諦めて抜港するほど）、1年の半分はあらゆるものをカビさせるねっとりとした湿気に包まれ、本島南部の白い砂浜は基本的に人工、海の透明度は抜群ですが、空が青くなければ海も青くないので雲がある時はくすんだ青、道の真ん中に鎮座する巨大なガジュマル、雨上がりに大量に湧き出るアフリカマイマイ（外来種）とアスファルトをうねらせる盛り上がった街路樹の根に足を取られないように気を付けて歩く歩道、夜な夜な鳴き声を響かせるヤモリ、那覇市内も普通に飛んでいるオオコウモリ、野性味あふれるたくましき野良猫達に交じって現れるマンガース、恐ろしい勢いで繁茂する雑草（夜間はハブに注意）」など、生命力に溢れる土地柄です。

ほぼ絶滅した二千円札が、沖縄では現役で流通しています。それが一番驚いたかもしれません。



最新のトピックスは  
こちらへ➡

動物検疫所のホームページ <https://www.maff.go.jp/aqs/>  
農林水産省のホームページ <https://www.maff.go.jp/>  
WOAHのホームページ <https://www.woah.org/en/home/>

動検時報はこちらにも掲載しています。



編集・発行 農林水産省  
動物検疫所  
横浜市磯子区原町 11 - 1  
(045) - 751 - 5921 (代表)